

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 あすなろの園		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育時の子どもの様子や保護者の心配事などの情報共有を行う。	・毎回療育での子どもの様子を記録し保護者に読んでいただき時間の許す限り口頭でお伝えしている。また、定期的に懇談を行いより細やかな情報共有を行っている。	・現在実施している療育参観の内容の更なる充実を図る。 ・いつでも療育でのお子さんの様子を見ていただけるようにする。
2	・就学時の移行。	・関係機関(通園中のこども園、幼稚園、就学先の関係者、保護者、当園)との連携。 ・親の会で開催している「先輩の話を聞く会」について全面協力を行い就学についての体験談や情報を共有している。	・年長児だけでなく他の年齢の保護者の方にも参加していただけるように開催の仕方を考えていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の行事への参加率。	・行事などの計画内容や開催日時について。	・事業所の移転もあるので、施設を十分に生かした内容を考えていく。 ・保護者のニーズの聞き取りなどをきめ細やかに行う。
2	・保護者との懇談。	・現在も行っているが時間の確保。 ・移転に伴い保護者の方と会う機会が減ると思うのでなかなかすくには情報共有がしづらくなってしまうのではないかと。	・時間の確保を行うとともに、連絡帳やすぐる配信などの活用をしていく。
3			